

小項目ごとの評価に関する検討結果

・小項目評価にあたって考慮した事項

◎判断理由

※委員意見

大項目 1 【教育研究等の質の向上に関する目標】

平成 30 年度計画	小項目 番号	自己 評価	委員会 評価	判断理由・コメント（案）
研究成果の発信と還元 による産業活性化への 貢献	8 (23) (24)	Ⅲ	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 国内特許新規出願件数、共同出願比率が目標に達しなかったが、ロイヤリティ収入が増加するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 教員一人当たりの共同・受託研究数が目標を達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 <p>◎ 年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>
生涯教育の取組の強化	9 (25) (26)	Ⅲ	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 公開講座の受講者ニーズの把握とその反映や、履修証明プログラムの検討を進めるなど、年度計画に基づき取組みを実施。 I-site なんばにおいて、新たな社会人向け公開講座を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 <p>◎ 年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>
地方自治体など諸機関 との連携	10 (27) (28)	Ⅲ	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 堺市産学公連携事業など、府内自治体との連携に取り組むなど、年度計画に基づき取組みを実施。 大阪教育大学など諸機関と連携し地域課題に取り組む人材育成を行うなど、年度計画に基づき取組みを実施。 <p>◎ 年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>

グローバル化	11 (29) (30)	III	III	<ul style="list-style-type: none"> 海外への学生派遣数は目標に達しなかったものの、外国人招へい教員数の維持や、国際交流学生サポーター制度の試行実施など、年度計画に基づき取組みを実施。 受入学生数が目標を達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 <p>◎ 年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のIIIは妥当であると判断した。</p>
【高専】研究成果の発信と社会への還元	19 (46)	III	III	<ul style="list-style-type: none"> MOBIOでの技術相談件数が目標を達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 <p>◎ 年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のIIIは妥当であると判断した。</p>
【高専】公開講座や出前授業の推進	20 (47) (48)	III	III Or IV	<ul style="list-style-type: none"> 公開講座数及び参加者数が目標を達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 出前授業において参加人数が目標を大きく超えるなど、年度計画を上回って取組みを実施。 「はりま産学交流会」において教員が講演を行うなど、年度計画に基づき取組みを実施。 公開講座と出前授業の件数を達成指標以上に増やす努力をしており、それが参加人数の増加をもたらしていると認められる。 <p>◎ 【IIIの場合】出前授業の参加人数が目標を大きく上回っているが、他の項目の実施状況を総合的に勘案し年度計画を上回って実施しているとまでは認められず、総合的に評価した結果、評価のIIIは妥当であると判断した。</p> <p>【IVの場合】公開講座・出前授業とも実施回数及び参加人数が目標を上回っていることや他の項目の実施状況を総合的に勘案し年度計画を上回って実施していると認め、評価はIVが妥当であると判断した。</p>

大項目 2 【業務運営の改善及び効率化】

平成 30 年度計画	小項目 番号	自己 評価	委員会 評価	判断理由・コメント（案）
運営体制の改善	2 1 (49) (50)	Ⅲ	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画・戦略会議等を見直し、運営会議を設置するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ・ I R 推進室において I R システムを導入し、試行的にデータ分析を開始するなど、年度計画に基づき取組を実施。 ・ 平成 31 年 4 月 1 日に新法人に移行するため、各制度、システム等の一元化の準備など、年度計画に基づき取組みを実施。 <p>◎ 年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>
組織の活性化	2 2 (51) ↳ (54)	Ⅱ	Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性研究者支援事業を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ・ 大学の教員業績評価については、例年通り、一次・二次評価を経て結果通知を行う予定であったが、諸事情によりスケジュールに遅れたが生じたことから、自己評価ないし一次評価をもって、本年度の教員業績評価とした。 ・ 教職協同組織である女性研究者支援室の設置など、年度計画に基づき取組みを実施。 ・ F D ・ S D 活動を活発に実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 <p>◎ 教員業績評価制度において年度計画を計画通り実施できているとは認められず、総合的に評価した結果、評価のⅡは妥当であると判断。</p> <p>※ 出産・子育て・介護で時間を制限される女性研究者に対して事務補佐員・技術補佐員を配置されているのは大変貴重な取り組みである。</p>
施設設備の有効利用等	2 3 (55)	Ⅲ	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学内施設において利用料徴収を開始するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ・ 研究機器の共同利用の促進など、年度計画に基づき取組みを実施。 <p>◎ 年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のⅢは妥当であると判断した。</p>

大項目3【財務内容の改善】

平成30年度計画	小項目番号	自己評価	委員会評価	判断理由・コメント(案)
1.自己収入の確保に関する目標を達成するための措置 2.経費の抑制に関する目標を達成するための措置 3.運営費交付金についての目標を達成するための措置	24 (56) { (58)	III	III	<ul style="list-style-type: none"> 外部資金獲得額が目標を達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 年度計画に掲げる課題対応のため、女性研究者への支援事業等に対する予算配分や省エネの取組みを行うなど、年度計画に基づき取組みを実施。 運営交付金の効率的な執行に努め、新規事業・継続事業別に事業評価を行うなど、年度計画に基づき取組みを実施。 <p>◎ 年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のIIIは妥当であると判断した。</p>

大項目4【自己点検・評価及び当該状況にかかる情報の提供】

平成30年度計画	小項目番号	自己評価	委員会評価	判断理由・コメント(案)
1.評価に関する目標を達成するための措置 2.情報の提供と戦略的広報に関する目標を達成するための措置	25 (59) { (63)	IV	IV	<ul style="list-style-type: none"> データ集作成にあたっての市立大学との一部統一、自己点検・評価実施の準備など、年度計画に基づき取組みを実施。 高専においてJABEEを受審し、通常は必要な中間審査不要で認定を可とされるなど、年度計画を上回って取組みを実施。 シラバスの記載内容チェックを実施し、また入力率100%を引き続いて達成するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 認知度向上とブランド力の強化のため、大学・高専の双方で積極的に広報を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 後援会、同窓会と連携して事業を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 <p>◎ 年度計画を上回って実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のIVは妥当であると判断した。</p> <p>※ 後援会への加入率が高率であることは素晴らしい。同窓生の支援に繋げることを強く期待する。</p>

大項目5【その他業務運営に関する重要目標】

平成30年度計画	小項目 番号	自己 評価	委員会 評価	判断理由・コメント（案）
1.施設設備の整備に関する目標を達成するための措置 2.安全管理等に関する目標を達成するための措置 3.コンプライアンス・リスクマネジメントの強化に関する目標を達成するための措置 4.人権に関する目標を達成するための措置	26 (64) 〃 (70)	IV	IV Or III	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備・保全プランに基づき、耐震化、改修工事を実施、また高専において、計画以上に施設設備の改修を進めるなど、年度計画を上回って取組みを実施。 ・ 高専において工作機器の購入や大学設備の共同利用を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ・ 全学一斉防災避難訓練を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ・ 入試において出題ミスが発生したが、対応を迅速に行い最小限の影響に留めた。これを機会に、新たなチェック組織を結成するなどの取組みを実施。 ・ 研究公正委員会を通じた取組みの実施や不正防止モニタリング監査の実施など、年度計画に基づき取組みを実施。 ・ 情報セキュリティについて、研修、監査を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ・ 人権に関するシンポジウム、マネジメント研修を実施するなど、年度計画に基づき取組みを実施。 ・ 出題ミスという重大なリスク事象を未然に防げなかったことを考慮すべきではないか。 ・ 出題ミスについて、リスクマネジメントという意味では、ミスへの対処を正しく行ったということで計画どおりという考え方も理解できる。 <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎【IVの場合】高専において施設設備の改修を計画以上に進めたことや他の項目の実施状況を総合的に勘案し年度計画を上回って実施していると認め、評価のIVは妥当であると判断した。</p> <p>↑↓</p> <p>【IIIの場合】高専において施設設備の改修を計画以上に進めたが、入試ミスの再発防止に取り組む中、出題ミスが発生したことから、年度計画を上回って実施しているとまでは認められず、総合的に評価した結果、評価はIIIが妥当であると判断した。</p> </div>

大項目6【大阪市立大学との統合等】

平成30年度計画	小項目 番号	自己 評価	委員会 評価	判断理由・コメント（案）
1. 大阪市立大学との統合による新大学実現へ向けた取組の推進 2. 大阪市立大学との連携の推進	27 (71) 〵 (73)	III	III	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成31年4月1日に新法人に移行するために、人事給与福利厚生制度などの各制度、システム等の一元化を準備するなど、年度計画に基づき取組を実施。 ・ 新大学推進会議等において、教育研究組織、キャンパスプランの検討を実施するなど、年度計画に基づき取組を実施。 ・ 連携・共同化について、単位互換科目（地域実践演習）の開講やラーニングコモンズの相互利用の実施など、可能なものから先行して実施するなど、年度計画に基づき取組を実施。 <p>◎ 年度計画を順調に実施していると認め、総合的に評価した結果、評価のIIIは妥当であると判断した。</p>